

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 林 健吉
副 会 長 : 岩尾 誠
幹 事 : 和田英人
広報委員長 : 松森 薫
会報担当者 : 廣瀬泰輔・渡邊 剛

2018 年度国際ロータリー会長：バリー・ラシン (East Nassau ロータリークラブ・バハマ)

2018 年度国際ロータリーテーマ：Be The Inspiration (インスピレーションになろう)

＜本日のプログラム＞

第 2598 回 平成 31 年 2 月 21 日 第 3 木曜日
ロータリー理解講座
(小笠原正道情報委員長による)

＜次回の予定＞

第 2599 回 平成 31 年 2 月 28 日 第 4 木曜日
会員卓話 田代東次郎会員
大畑於左武会員

＜前回の記録＞

第 2597 回 平成 31 年 2 月 14 日 木曜日
会員卓話 和田詠伸会員
松森 薫会員

司 会 進 行	大川達也副 SAA
点 鐘	林 健吉会長
ソ ン グ	それこそロータリー
出 席 報 告	竹内巧治出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
40 名(免除 1 名)	30 名	6 名	36 名	92.3%

ニコボク 國田大雄クラブ奉仕委員



- ・本日の会員卓話 和田、松森両会員の卓話楽しみです。宜しくお願いします。 林 健吉
- ・本日の卓話よろしくお祈いします。メモなしで挑戦してみます。 和田詠伸
- ・卓話です。よろしく。 松森 薫
- ・和田、松森両会員 卓話よろしくお祈いします。
畑中伸夫・羽田野優男・平岩憲政・廣瀬泰輔
岩出明喜・岩尾 誠・河合 修・川井昭司
國田大雄・前田伊三夫・松本英樹・水上成樹
村井義孝・村土時男・西川 昇・西村 肇
大畑於左武・大川達也・大前正行・酒井智義
坂本 仁・澤崎 茂・竹内巧治・田代東次郎
渡邊 剛・山川直保

幹事報告 水上成樹副幹事



- ・地区事務所より、第 31 回ローターアクト研修会のご案内
- ・地区事務所より 1 月分地区増強報告
- ・ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」227 号
- ・ガバナー事務所より訃報のご連絡
- ・関、関中央、可児 各 RC より例会変更のお知らせ

＜拝受＞

- ・桑名北 RC より週報

委員会報告



- ・前田伊三夫 SAA 委員長
遠藤主税会員 葬儀のお手伝いについて
- ・河合 修会員増強委員長
会員増強について

会長の時間 林 健吉会長

本日は悲しいお知らせがあります。当クラブ会員の遠藤主税君がお亡くなりになりました。大変急なことで驚きました。遠藤君のご冥福をお祈り申し上げます。

会員卓話

和田詠伸会員



本日の卓話の前に、昨日我がクラブバスト会長遠藤主税君が旅立たれました。その知らせを受け、私は次から次へと思い出が湧き出し身動きできない状態となりました。

生きる糧となるような貴重なお話や助言を頂けて有難く思い、感謝の念があふれるところです。今は、只々ご冥福をお祈りするばかりです。

さて本日の卓話ですが、最初に建物の省エネルギーの話をしていきます。以前は建物の壁材や天井材の断熱性能だけが主流でしたが、今では建物の気密性能やガラスの断熱性能、遮熱性能に加え、床下基礎の断熱性能と様々な部位での省エネルギー対策が考案されるようになりました。最近では太陽光発電装置を屋根に置いて、運動エネルギーまでも省エネルギーの対象になっています。省エネルギー対策の恩恵として、冷暖房費の軽減があります。冷暖房器具を作動させた時、室温が素早く変化し早く定常運転となり電力燃料の節約ができます。

最近では、高気密・高断熱の住宅が多くなっていますが、断熱性能を高める上で避けてはいけない大切なことがあります。それは、結露対策です。冬場に窓ガラスが曇ることは誰もが認識していますが、実は壁も同じで、気密性の良くない壁の内部に結露が発生します。壁体を境に内外に温度差が生じるとそこに結露が発生しますが、長期的にみると建物にダメージを与えます。結露は冬季の室内暖房で発生します。ガラスはその都度拭き取ることができますが壁は放置状態です。断熱性能の高い材料は何かというと、実は空気が最も良く壁体内に空気層を作り断熱します。木造住宅は内外壁の中に軸組(壁内部)部分があり、そこが空気層です。しかし、その空気層の厚みが10cm以上あるため、空気の対流を引き起こし結露を増進させてしまいます。その対流を止めるためグラスウールなどの空気をたっぷり含んだ材料を充填します。グラスウールは断熱材である空気の対流を防ぐためのものです。昔は、ガラスは冬場は結露するものと誰もが思いましたが、今やガラスメーカーやサッシメーカーの研究開発で、断熱性能が高く結露の少ない窓ができるようになりました。窓サッシの二重ガラスは今やスタンダードになっていますが、更にそこに嵌め込むガラスの性能が高いものが開発されました。ガラスの表面に遮熱材料となる金属膜を施したガラスです。外側のガラスは夏場の熱線を反射し、内側のガラスは冬場の暖房効果を高めます。

快適な住環境とは何か。人それぞれ考え方が違います。暑い時は暑いなりに、寒い時は寒いなりに暮らすことも考え方の一つです。多くの費用をつぎ込んで快適を求めることもできます。日本には四季があり、昔からそれを心得て楽しんできた

民族です。窓を開けて季節を感じながら暮らすのも楽しみの一つではないでしょうか。

会員卓話

松森 薫会員



遠藤主税君のご冥福をお祈りいたします。

詠伸さんの後を受け、サッシガラスの省エネについて話します。有難いことに皆さんの前で営業ができません。

サッシは1960年代、昭和40年代頃にアルミサッシが発売されました。最初はアルミなので木製に比べ腐らない、丈夫で長持ちするというものでした。ガラス溝9mmの単板ガラスで、枠のレールは階段式になっていて、雨、風が入らないようになりました。しかし、障子が外側にしか外れず安全面でも危険ということで、前後のレールが同一の高さに変更・改良され障子も内側に外れるようになりました。ガラスの方も耐風圧性、水密性、防音、断熱と色々考えられペアガラスが生まれました。空気層を大きくするためにガラス溝も大きくし、アルミでは熱伝導が良過ぎるので内側に樹脂を入れるようになりました。ガラスも進歩しています。断熱性、遮熱性を高めるため、内側に特殊な粉を吹き付けたLow-Eガラスなどがあります。1枚ガラスだと10℃の内外差があると結露が発生します。使用条件にもよりますが、空気層12mmのペアガラスだと、内外差24℃(内側20℃-外側マイナス4℃)、空気層12mmのLow-Eガラスだと内外差37℃(内側20℃-外側マイナス17℃)まで結露が発生しにくいです。ガラス溝26mmの窓が一番多く使用されています。新しくガラス溝が32mmの窓もありますが、値段が高いためそれほど普及していません。窓ガラスは省エネ性能だけでなく、防犯、防火の面でも色々考えられています。

網戸のネットも進化しています。

- ・スリムネット…網目が細かくより小さな虫の侵入も防ぎ、ネットが見えにくく外が見やすい。
 - ・ミラーネット…室内からは外がよく見え、外からは室内が見えにくい。
 - ・ペットライフネット…ペットが引っかいても破れにくい。
- など様々あります。

去年の風台風では、シャッターやカーポートの屋根が飛ぶなどの被害が多くあり、私の仕事も大変でした。材料も人手も不足していましたが、お客さんを何カ月もお待たせすることはできないので、普段は職人さんをお願いする仕事も自分で行ったりしました。自宅の屋根にも木が倒れましたが自分で修理しました。大変でした。

窓に関するご要望等ございましたら、ぜひご相談ください。